

教 科		家 庭	
		指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 関連性や系統性に配慮した指導計画	◎ 日常生活の中から問題を見いだして様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、課題を解決する過程を重視した学習の充実を図る。	◎ 内容項目や指導事項の相互の関連や他教科等との関連を明確にするとともに、中学校の学習を見据えて、系統的に指導できるような題材を構成する。
	◎ 言葉や図表などを用いて説明する学習活動の充実	◎ 自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図る。	◎ コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報の収集・整理や実践結果の発表などを行うことができるように工夫する。
指導の工夫	◎ 実践的・体験的な活動の充実	◎ 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、実践的・体験的な活動の充実を図る。	◎ 家庭や地域との連携を図り、子どもが身に付けた知識・技能などを日常生活に活用できるよう配慮する。
	◎ 主体的な学習を促す評価	◎ 自己評価や相互評価を学習過程に効果的に位置付け、子どものよい点や進歩の状況を積極的にとらえ、主体的な学習を促す評価となるようにする。	◎ 毎時間の学習状況を継続的に把握して指導に生かす。
評価の充実			

## 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

### ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 ポイント3「見通し」

#### 小6「衣服の着用と手入れ」

\* 洗ってあるシャツと汚れたシャツの観察をさせた上で

家庭との連携を図り、自分自身の衣食住に関する実態調査等から問題を見いだして、解決すべき課題を設定する。



シャツを洗濯するとき気を付けていることを家族にインタビューしてみましよう。

特に汚れているところは、手で洗っていたぞ。洗剤の量や水の温度については、どんなふうに変えるといいのかな？



仮説を立てて試行したり、比較検討したりして、解決策を具体化しながら、計画を立てる。



どんな洗い方がよいか試し洗いを行い、なぜそうなったのかや、疑問点を考えてみましょう。

\* 試し洗いを行った後に、「洗剤の量」「水温」「洗い方」等のキーワードをもとに解決策を具体的に考えさせる。

### ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

\* 実習カードの記入欄に書いてきた自分の考えや気付きをもとに

授業の各段階で、自分が考えたことや見つけたことなどを自分の言葉でまとめさせておき、それらをもとに、友達と話し合い、学習の過程を振り返ることができるようにする。



うまくいったことや疑問に思ったことなどをグループで話し合い、深まった考えを実習カードに記入しましょう。

汚れが多いところに洗剤の量を多くしたので、汚れがよく落ちたぞ。

友達が工夫していたことも取り入れて、家でやってみよう。



